

製品名: KANK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86076**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|----------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500 |
| 分子量 | 147.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | KANK1 |
| 別名 | KN motif and ankyrin repeat domain-containing protein 1, Ankyrin repeat domain-containing protein 15, Kidney ankyrin repeat-containing protein, KANK1, ANKRD15, KANK, KIAA0172 |
| 遺伝子 ID | 23189.0 |
| SwissProt ID | Q14678 |
| 免疫原 | この KANK1 抗体は、ヒト KANK1 の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されません。 |

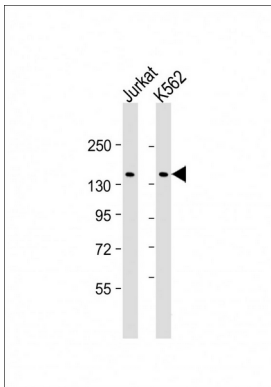
背景

アクチン重合を制御することで細胞骨格形成の制御に関与する。アクチン繊維形成および細胞遊走を阻害する。RhoA 活性を阻害する。その機能は PI3K/Akt シグナリングによるリン酸化に関与し、14-3-3 アダプタータンパク質との競合的相互作用に依存して活性複合体から隔離すると考えられる。ラメリポディアの形成を阻害するが、フィロポディアの形成は阻害しない。その機能は BAIAP2 との競合的相互作用に依存して活性化 RAC1 との会合を阻害すると考えられる。フィブロネクチン媒介細胞伸展を阻害する。その機能は部分的に BAIAP2 によって媒介される。神経突起伸展を阻害する。創傷治癒における方向性のある細胞運動中の細胞極性の確立および持続に関与する。核内では、 β -カテニン依存性転写活性化に関与する。腎細胞癌の潜在的な腫瘍抑制因子。

研究分野

-

画像データ



全レーン：抗 KANK1 抗体 (1:2000 希釈)